

演題発表者決定！！



CHANGE

2021年度第11回九州・沖縄ブロック社会福祉士研修会

「変化は進化」-evolutionary change-社会福祉士と

して変わるモノと変わらないコト

続報！実践報告会8名の演題発表者が決定！！

九州・沖縄ブロック社会福祉士研修会の午後からのプログラムである実践報告会は、社会福祉士が現場で取り組んできた実践の成果を発表・報告する場であり、参加者においては、それぞれが得た知識を自らの職場にフィードバックして地域ごとの社会福祉の発展に貢献することを目的としている。発表者にとっては自らを成長させる絶好の機会であると言える。参加者の方々は午前中の基調講演とともに、こちらもぜひ楽しみにいただきたい。

都道府県	発表者名	演題タイトル
福岡県	大西 良 氏	コロナ禍における子ども食堂～子ども食堂運営団体への実態調査から見てきた社会福祉士の役割を中心に～
長崎県	立石 大輔 氏	知的障害を持つ方への意思決定支援～1人の生活が難しい方への生活支援～
佐賀県	江藤 涉 氏	成年後見活動における意思決定支援にかかる客観的判断の必要性について～意思表示が難しい人の意思決定支援をどうするか～
宮崎県	柿並 興昌 氏	災害時福祉支援ネットワークの構築について～宮崎県社会福祉士会の取り組み～
鹿児島県	毛利 満則 氏	ゲームが好きで、携帯電話に思い入れのある方への支援～意思決定支援～
熊本県	窪田 寛史 氏	新型コロナウイルス禍での災害支援体制構築を通して得ることが出来た視点～ツールの活用とソーシャルワークの可能性～
沖縄県	兼久 輪香子 氏	離島における自殺対策～南の島の命どう宝～
大分県	高橋 昭一 氏	コロナ渦における生活困窮対応～社会福祉士としての葛藤～

※演題のタイトルは変更になる可能性があります。

※実践報告会の発表の順番とは異なります。詳細は事前に配布される大会冊子をご確認ください。